

令和4年度

千代田区立ふじみこども園



園長	小林 晶子	所在地	東京都千代田区富士見1-10-3
副園長	鈴木 昭子	電話	03(3263)1009
副園長	阿部 亜紀代	FAX	03(3263)1635
PTA会長	橋本 恭伸		
最寄りの駅			
飯田橋…JR線・東京メトロ有楽町線・東西線・南北線・都営地下鉄・大江戸線			
九段下…東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄新宿線			

I 教育の概要

1 園・地域の特色

本園は、千代田区立飯田橋保育園と千代田区立富士見幼稚園が母体となり、平成22年4月1日に本区で2番目の千代田区型幼保一元化施設として開園した。0・1・2歳児の乳児部は保育園、3・4・5歳児の幼児部は幼稚園の認可を受けている。

幼児部は、教育時間「短時間保育」と、その終了後等に行う教育活動としての「預かり保育」や「長時間保育」を行い、乳児部も含めて保護者のニーズや状況に応じた保育時間を選択できる。保護者の就労の有無にかかわらず、0歳児から就学前までの子どもたちを同じ保育・教育方針の下、保育士や幼稚園教諭、看護師、栄養士が専門性を発揮しながら、子どもたちの心身の発達及び一人一人に応じた成長を支えている。

また、本園は、皇居の内堀と外堀の間にあり、地元住民中心の商業地区と高層マンションの建築が盛んな集合住宅地域に接している。周辺には行政機関や文化施設があり、保・幼・小・中・高・大学が集中し、文教地区を形成している。本園施設は、富士見みらい館内2階・3階に位置し、土の専用園庭や庭に隣接するテラスなどがある。また、本館の小学校校庭や、体育館、プールエリアなどの運動施設を保育・教育活動に活用している。

2 教育の基本理念

- 0歳から就学前までの子どもたち一人一人の心身の発達過程やその連続性を考慮して、幼稚園と保育園のよさを生かす保育・教育課程の一貫した方針に基づいて、新しい子どもの育ちの場を創造します。
- 子どもの実態や子どもを取り巻く環境を捉えて、保護者・地域社会の方々と教職員が連携して、乳幼児の生きる力の基礎を培い、心身の健全な発達を図ります。
- 子どもを共に見守り、育てる認識に立って、地域社会の方々と協力して、子育ての悩みや不安をもつ家庭を支援する社会的な使命を果たします。

3 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、6年間を見すえ、富士のようにおおらかで、やさしくたくましいふじみの子どもの育成を目指し、次の保育・教育目標を設定する。

- ◎げんきな子・・・心も体も健康で主体的に行動する子ども
- ◎がんばる子・・・よく考えてねばり強く取り組む子ども
- ◎やさしい子・・・心豊かに感じて自分も人も大切にすること
- ◎よくたべる子・・・食に関心をもち食べることを楽しむ子ども

4 教育目標を達成するための基本方針

以下の4つの基本方針に基づき、家庭や地域と連携し、遊びを中心とした指導を通して、予測困難な未来をたくましく生きる力の基礎を培い、小学校以降の教育へとつなげていく。

○主体性を育み、多様性を受け止め合える教育の推進

- ・遊びや生活に主体的に関わる中で、一人一人が自分で気づき、考え行動する力を培う。
- ・生きる力の基盤となる人への信頼感、自己肯定感・有用感を育み、自分らしさを十分発揮するとともに多様な個性をもつ子どもたちが、互いの気持ちや考えを大切にしながら、折り合いを付けたり優しさを表現したりしながら、よりよい生活を営もうとする心情や態度を育む。

(自立心、言葉による伝え合い、健康な心と体、協同性、道徳性・規範意識の芽生え)

○豊かな感性や思考力の芽生えを育み、表現する喜びを味わう教育の推進

- ・季節や発達に応じた環境の中で、感じたことや考えたことを、様々な方法で表現したり探求したりする過程を十分に楽しみ、豊かな感性や思考力の芽生え、生命尊重の気持ちを培う。

(豊かな感性と表現、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、社会生活との関わり)

○健やかな心と体を育てる教育の推進

- ・基本的生活習慣や健康な生活リズムを確立し、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- ・自分のやりたいことに向かって、心と体を十分に働かせながらねばり強く取り組む意欲を育み、体力の向上や運動技能、指先の巧緻性等の発達を促す。
- ・食育を通して、食事や食材、自分の健康への関心を高め、望ましい食習慣を養う。

(自立心、健康な心と体)

○社会に開かれた教育課程の実現

- ・家庭や地域、小・中学生、近隣保育所など多様な人、もの、こととの関わりを通して、家族への愛情や地域への親しみをもち、感謝の気持ちを育む。
- ・地域・家庭の教育力を生かした教育活動を推進し、多面的評価をもとにカリキュラム・マネジメントを行い、組織的・計画的に教育の質の向上を図っていく。(社会生活との関わり、道徳性・規範意識の芽生え)

5 指導の重点

(1) 養護

- 子どもたちの生命と健康を守るため日常及び緊急時の安全管理に努め、安心・安全で清潔な環境を整える。

- ◎短時間保育・長時間保育の保育者が連携し、連続性や循環性のある生活の流れをつくるとともに、子どものありのままの表現を十分受け止め、心情に添いながら情緒の安定を図り、自己肯定感を育てていく。

(2) 指導

- 子どもの行動には必ず意味があることを念頭におき、共感性のある関わりを基本とし、子ども同士が思いを伝え合い、相手の心情を知る援助をしながら、温かい学級のつながりを構築していく。

(人間関係・言葉)

- ◎子どもが身近な環境に自ら関わる中で、心豊かに感じたり考えたりする力が育まれるよう、探求したり、話し合ったりする過程を大切に、主体的・対話的で深い学びとなるよう指導の充実を図る。

(環境・表現)

- ◎学校 2020 レガシーとしての位置付けとして、「コーディネーショントレーニング」に取り組む中で、遊びの中で意欲的に体を動かし、身のこなしや学びのコツをつかんだりできるようにする。(健康)

- 障害がある子どもや外国籍の子どもへの支援を、センター的機能や巡回アドバイザー等を活用して行い、誰一人取り残すことのない細やかな支援を全職種の職員が共通理解して取り組む。さらに保護者の理解も深めながら、個性や多様性を認め合い尊重し合う心情を育み、共生社会を実現するための基盤となるインクルーシブ教育の充実を図る。

(人間関係)

- 様々な人に大切にされていることや人の役に立つ喜びを実感できるよう、感染状況を踏まえながら異年齢交流、地域の方々、小・中学生、近隣保育所等との交流を意図的・計画的に行う。交流を通して、他者を思いやる心を育み、人の役に立つ喜びを味わえるようにしながら自尊感情を高めていく。

(人間関係)

- 安全点検や感染症予防対策を徹底すると共に、子ども自らが安全で健康な生活を営むための決まりやマナーを意識して行動し、危険回避能力を身に付けるための段階的な指導を行いながら、園生活全体を通して 生命の安全教育を行う。

(健康)

(3) 環境の構成について

- 園内の自然環境や活動を充実させるとともに、北の丸公園等への遠足や散歩など地域環境を利用し、自然を豊かに感じ、動植物を大切にすることを育てるようにする。

- 異年齢児から様々な刺激を受け、憧れの気持ちをもったり、優しさやいたわりの気持ちを表現したりする機会をもてるよう、環境や交流活動の工夫等、乳幼の連携をさらに進めていく。

- 専門家と連携した特色ある教育活動を推進し、多様な文化や表現方法に触れる機会を作る。

- 日本の伝統・文化に親しむため、「盆踊り」「もちつき」「お囃子の会」など季節行事の体験活動を計画的に実施する。また、給食の行事食も生かしながら、行事にまつわる食文化に触れられるようにする。

- 子どもの直接体験を補完するICT活用を試み、その後の話し合いやさらなる体験へと繋げて学びを深めていく保育の構想を工夫する。

- 図書館司書と連携し、SDG s に関わる図書の充実を図り、持続可能な社会の創り手としての基礎を育む教育を行うとともに、絵本を読むことの重要性を保護者にも発信し、豊かな言葉に触れ、感性を磨き、想像力や表現力を豊かにする。

○様々な行事を通して、日本の伝統文化に触れるとともに、ALTの指導や外国籍の子どもとの関わりを有効に生かしながら、豊かな国際感覚の基礎を育む保育を展開していく。

(4) その他

- こども園の保育・教育活動について、掲示やおたより、HP、ICT活用による発信や、保育参観週間、保護者ボランティア等の機会を重ね、保護者の興味や関心、理解を高められるよう、また親としての関りの重要性や喜びが感じられるようにする。
- 未就園児や近隣保育所との連携「ふじみランド」や、小学校との交流や保幼小合同研修会などを通して、公立園として地域の幼児教育に貢献するとともに、小学校への滑らかな接続を図る。
- 様々な場面の想定で避難訓練を実施したり、外部機関連携した訓練を実施したりし、非常災害時の行動の仕方を身に付けるとともに、自分の身は自分で守るという意識を育む。
- 園内研究の研究主題を「生き生きと主体的に行動する幼児を育むーコーディネーショントレーニングの取り組みを生かしてー」とし、ふじみスタンダードを基盤としながら保育の充実と職員の資質向上を図る。

6 一日の時間

年 齢	期 間	登園時刻	教 育 活 動	降園時刻 (短時間保育児)
3 歳児	4月 8 日～5月 9 日	8 : 50	8 : 50～11 : 20	11 : 20
	5月10日～7月20日	8 : 50	8 : 50～13 : 20	13 : 20
	9月 1 日～3月17日	8 : 50	8 : 50～13 : 40	13 : 40
4 歳児	4月 7 日～3月17日	8 : 50	8 : 50～13 : 50	13 : 50
5 歳児	4月 7 日～3月15日	8 : 50	8 : 50～14 : 00	14 : 00
	3月16日	8 : 50	8 : 50～12 : 00	12 : 00

7 年間行事計画

4 月	始業式 (幼児)、入園式、定期健康診断始 保護者会 (3-2)、学級懇談会 (2) こどもの日の集い	5 月	離任式、保護者会 (3-1・4・5)、開園記念日、 給食始 (3 短時間保育児)、預かり保育始 (3) 学級懇談会 (0・1)、遠足 (4・5)
6 月	COT (幼児)、区一斉清掃日 個人面談始 (幼児)、ふじみアート (5) 遠足 (4・5)、図書館訪問 (5)、プール開き 定期健康診断終	7 月	COT (5)、七夕の集い、お祭りごっこ 終業式 (幼児)、夏季水遊び指導 (幼児) 夏季休業日 (短時間保育)
8 月	夏季休業日 (短時間保育)	9 月	始業式 (幼児)、プール指導終 (幼児)、お月見会 コスモスの集い、ふじみアート (5)、遠足 (3)
10 月	運動会 (2・3・4・5)、遠足 (4・5)、 COT (幼児)、遠足 (2)	11 月	サツマイモを味わおう、遠足 (4・5) 区一斉清掃日、園公開 (幼児)、合同こども会 (5) 移動動物園、個人面談始 (幼児) 勤労感謝の日に寄せて、遠足 (3)
12 月	就園時健康診断、個人面談終 (幼児)、園公開 (幼児) COT (幼児)、富士見小学校ふれあい祭りへの参加 (5) お楽しみコンサート、もちつき会、終業式 (幼児) 冬季休業日始 (短時間保育)	1 月	冬季休業日終 (短時間保育) 始業式 (幼児)、鏡開き 学級懇談会 (2)、遠足 (3)
2 月	節分、連合作品展、こども会 (4・5)、 ふじみアート (5)、遠足 (4)、新入園児保護者会 遠足 (5)、学級懇談会 (0・1)、図書館訪問 (5) こども会 (2・3)	3 月	ひなまつり・お囃子会、保護者会 (幼児) 遠足 (2)、遠足 (1) お別れ会・お別れ交流会 (幼児) 修了式、終業式 (幼児)、春季休業日始 (短時間保育)

毎月実施 (安全指導、避難訓練、発育測定、誕生会)

II 現 況

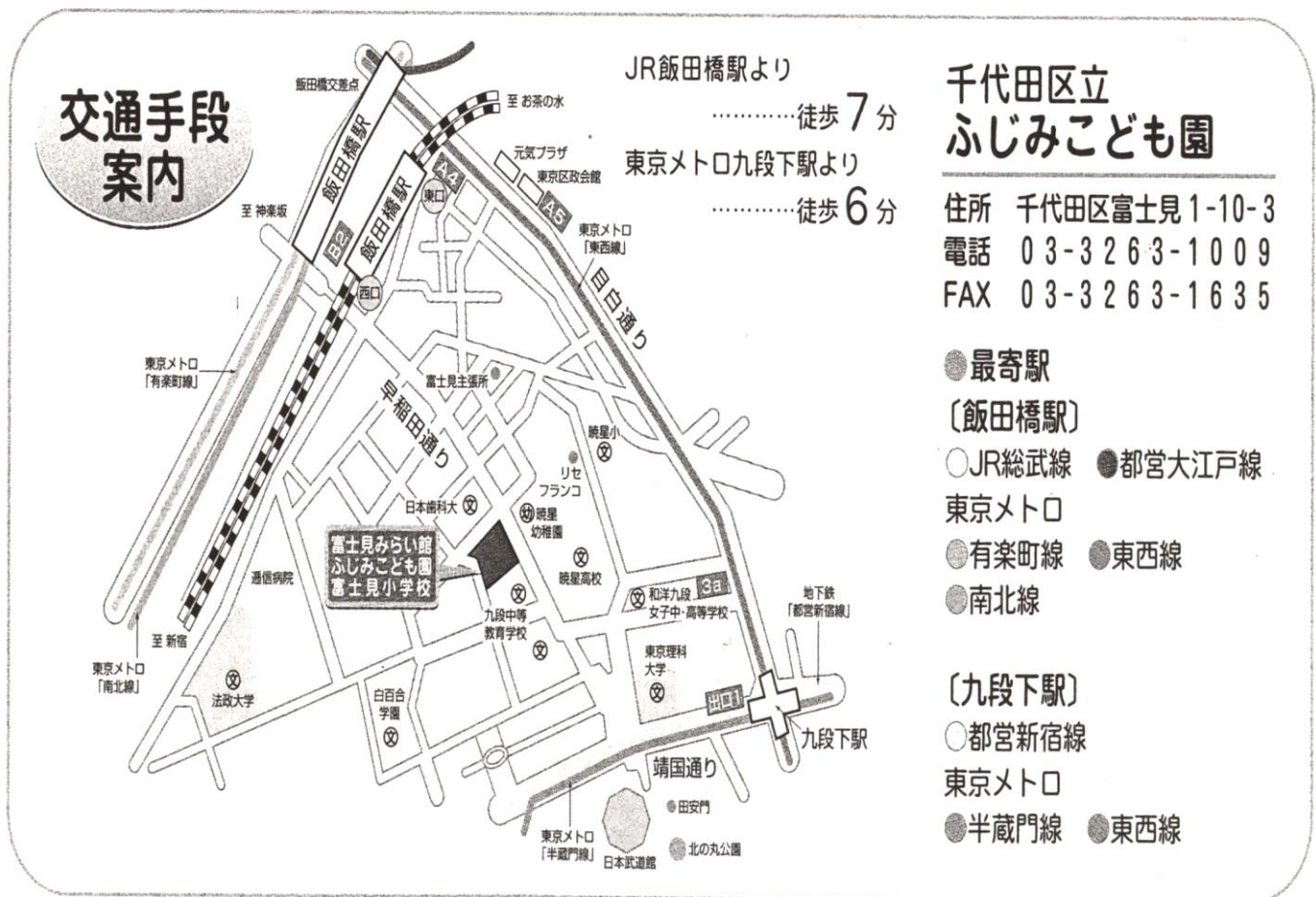
1 施設・規模一覧

現園舎	起工 平成20年9月19日 竣工 平成22年1月31日	園舎構造	SRC造 6階建て（2・3階部分）
園長室	（1） 50.1 m ²	職員室	（1） 99.6 m ²
遊び場(屋外)	（1） 801 m ²	会議室	（1） 27 m ²
遊戯室	（1） 120.5 m ²	多目的室	（1） 75.1 m ²
幼児部 (2階)	保育室（6） 午睡室（6） 多目的トイレ（1） 教材倉庫（1）	幼児トイレ（3） 職員トイレ（2） 配膳室（1） 洗濯室（1） など	
乳児部 (3階)	乳児保育室（4） 乳児午睡室（3） 教材倉庫（1） 配膳室（1） 更衣室〔休憩室〕（2） など	受け渡し室（3） 沐浴室（1） 調乳室（1） 職員トイレ（2） 多目的トイレ（1）	

2 学級編成 (令和4年5月1日現在)

組 男女別	0歳児	1歳児	2歳児	乳児部 合 計		3歳児		4歳児		5歳児		幼児部 合計	総合計
	はいはい	とことこ	すくすく			ぼうけん		わんぱく		ふぁいと			
						1 組	2 組	1 組	2 組	1 組	2 組		
男	7	1 6	1 4	3 7	短		9	6	9	5	5	3 4	1 1 5
					長	1 5		9	5	7	8	4 4	
					計	1 5	9	1 5	1 4	1 2	1 3	7 8	
女	4	5	1 1	2 0	短		1 6	4	3	8	4	3 5	8 9
					長	1 0		5	6	5	8	3 4	
					計	1 0	1 6	9	9	1 3	1 2	6 9	
計	1 1	2 1	2 5	5 7	短		2 5	1 0	1 2	1 3	9	6 9	2 0 4
					長	2 5		1 4	1 1	1 2	1 6	7 8	
					計	2 5	2 5	2 4	2 3	2 5	2 5	1 4 7	

3 所在地



Ⅲ 沿革の概要

<千代田区立富士見幼稚園>

明 20. 4. 15	東京市富士見高等尋常小学校内に付属幼稚室として設置。
明 20. 12.	幼稚室を幼稚園と改称。
明 23. 4.	小学校の改称に伴い東京市富士見尋常高等小学校付属幼稚園と改称。
明 30. 12.	麹町区裁判所より土地の払い下げを受け園舎を建築。
明 41. 4.	小学校の改称に伴い東京市富士見尋常小学校付属幼稚園と改称。
大 2. 2.	新園舎落成。
大 2. 3.	富士見小学校新築落成、南側校舎一棟を園舎として使用、裁判所より払い下げを受けた土地を園庭とする。
昭 7. 4. 1	東京市麹町区富士見幼稚園と改称。
昭 19. 5. 31	大東亜戦争時下の非常設置により、幼稚園は、戦時託児所として保育事業を再開。
昭 22. 4. 1	元園舎跡に新園舎建築落成。
昭 25. 3. 10	都教育庁指導部の実験幼稚園として研究発表。
昭 36. 2. 1	園旗を制定。
昭 37. 5. 25	元園舎落成。
昭 37. 10. 15	創立 75 周年記念式典を挙行。
昭 38. 12. 12	都・区の研究協力園として研究発表。
昭 41. 11. 18	全放連東京大会会場園、区協力園として研究発表。
昭 38. 11. 18	創立 80 周年記念式典を挙行。
昭 47. 10. 15	幼稚園園歌を制定。
昭 47. 11. 1	創立 85 周年記念式典を挙行。
昭 47. 2. 23	校地拡張、幼児用プール等竣工。
昭 52. 10. 20	創立 90 周年記念式典を挙行。
昭 54. 4. 10	3 歳児保育開始。1 学級増。
昭 58. 4. 1	昭和 58 年～60 年度。幼稚園教育課程研究指定校となる。
昭 60. 2. 13	文部省教育課程研究指定校研究発表。 千代田区教育委員会研究協力園研究発表。 大韓民国教育視察団来園。
昭 62. 11. 7	創立 100 周年記念式典を挙行。
平 3. 1. 17	東京都教育委員会教育課程研究園発表。
平 4. 11. 6	創立 105 周年記念お祝いの会挙行。
平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田富士見幼稚園となる。
平 7. 3. 31	平成 5～6 年度 区研究協力園発表。
平 7. 4. 1	初代専任園長 角田富美子就任。
平 8. 9. 6	園歌・園章制定。
平 10. 11. 27	平成 9～10 年度 区研究協力園発表。

<千代田区立飯田橋保育園>

昭 51. 11. 27	区立認可保育所として、千代田区立飯田橋保育園が開園。 開設に併せて零歳児保育(生後 8 ヶ月)開始。
昭 57. 2. 1	障害児保育事業開始。 (区立全園)
昭 58. 4. 1	零歳児保育の月齢を生後 6 ヶ月に引き下げ。
昭 60. 12. 1	延長保育開始。(区立全園)
平 7. 4. 1	零歳児保育の月齢を 4 ヶ月に引き下げ。

平12. 4. 1	第2代園長 佐瀬スミ子就任。	平12. 4. 1	産休明け保育（生後57日以降）開始。
平12. 4. 17	預かり保育実施。		
平12. 6.	千代田区幼稚園保育研究会を実施。		
平13. 7. 25	公開保育（全国幼稚園教育研究協議会）実施。		
平15. 4. 1	第3代園長 井上由利子就任。		
平16. 2. 20	開園10周年を祝う会を举行。		
平16. 11. 18	千代田区教育委員会研究協力園発表。		
平17. 5. 25	千代田区幼稚園保育研究会（幼保合同研修会）を実施。	平17. 4. 1	スポット延長保育開始。 （区立全園） 給食調理民間委託開始。
平18. 9. 1	園舎改築に伴い、旧九段中学校舎へ移転。		
平21. 11. 18	千代田区教育委員会研究協力園発表。		
平22. 2. 20	お別れ展覧会開催。		
平22. 3. 31	幼保一元化園「ふじみこども園」開園のため廃園。	平22. 3. 31	幼保一元化園「ふじみこども園」開園のため廃園。

＜千代田区立ふじみこども園＞

平 22. 4. 1	幼保一元化園「ふじみこども園」開園。初代園長 井上由利子就任。 園旗・園歌を制定。
平 22. 11. 19	開園1周年記念コンサート開催。
平 26. 12. 19	千代田区教育委員会研究協力園発表。
平 27. 4. 1	第2代園長 大関邦子就任。
平 27. 5. 7	開園5周年記念式（その他、開園5周年運動会、展覧会、音と遊ぼうコンサート 開催）
平 29. 12. 1	千代田区教育委員会研究協力園発表。
平 30. 4. 1	第3代園長 条原淳子就任。
令 2. 12. 18	開園10周年式典開催。
令 4. 4. 1	第4代園長 小林晶子就任。